

本造氏の戸本籠城合戦

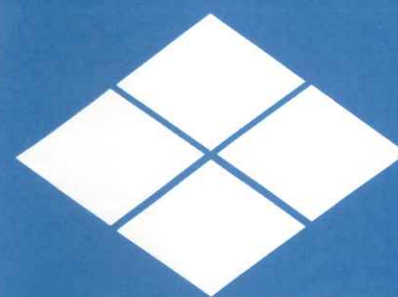
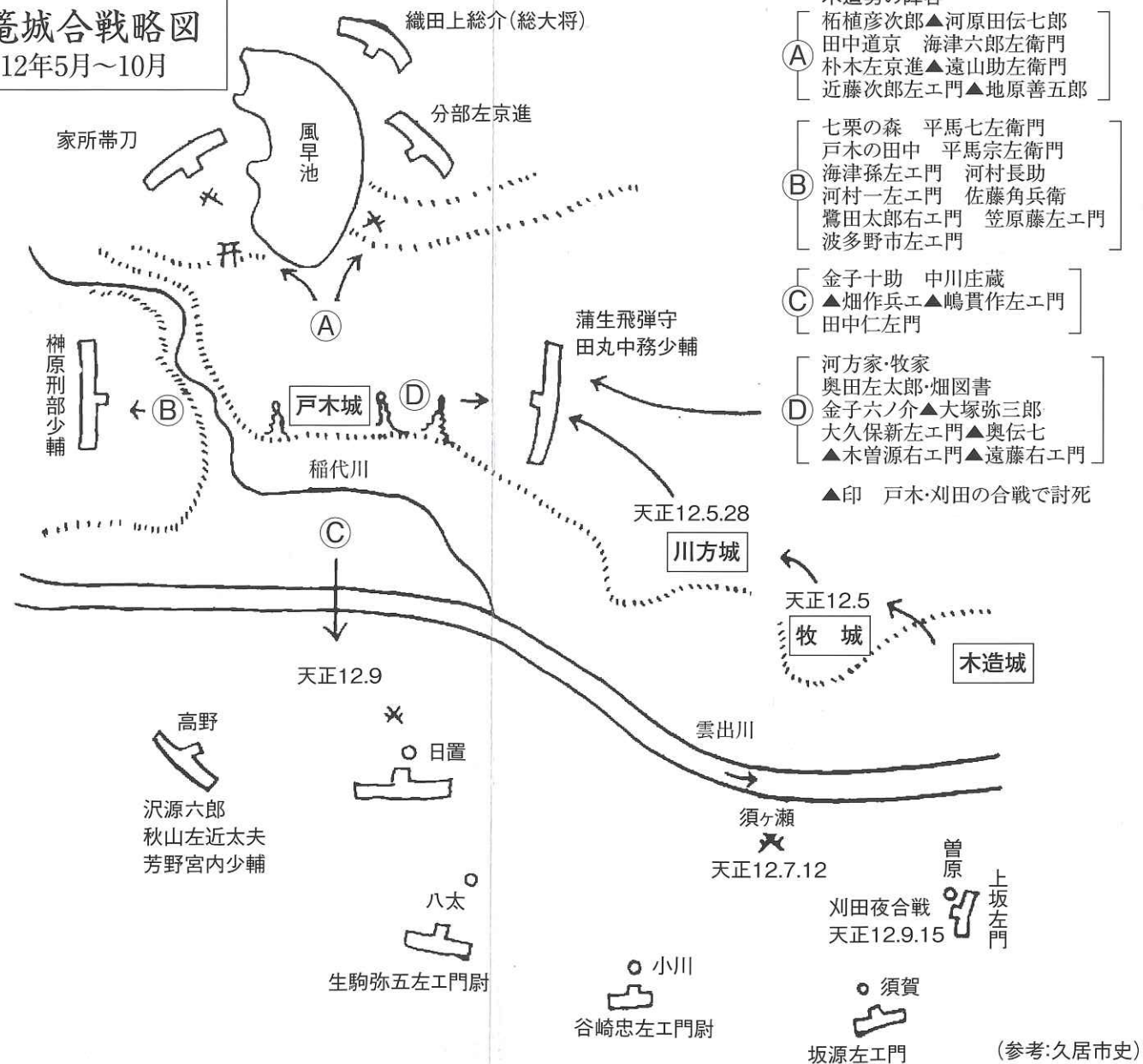
織田信長の伊勢侵攻が、滝川一益を先陣に北勢地方からはじまり、1569年（永禄12）には木造具政・長政親子へ南伊勢侵入の案内役の申し入れがあった。木造氏の内部には抵抗があったが、信長の威風に屈して木造城に入った織田軍と共に北畠氏に属する松阪大河内城を攻めるが、難攻不落がつづき、和議が成立。信長の次男信雄が北畠氏の養子となり、木造氏も信雄に属することとなる。その後、1582年（天正10）の本能寺の変で織田信長が自刃すると伊勢地方の勢力図も一変する。

豊臣秀吉の勢が増すにつれて、信雄の木造領も徐々になくなり、これに替わって秀吉配下の蒲生氏郷が松ヶ島城の城主として領地を広げつつあった頃、1584年（天正12）氏郷が長野氏系の城主を配下に木造氏最後の砦である戸木城（戸木の御所）を東西南北の四方から攻めてきた。

木造具政・長政は籠城し、長期戦化してきたが、ついに一身田専修寺の門跡堯慧大僧正が間に入り和睦した。1586年（天正14）信雄は秀吉により配流、木造長政は員弁、岐阜と移り、200有余年も続いた木造氏は雲出川から消え去った。

戸木籠城合戦略図

天正12年5月～10月



木造氏家紋「割菱」

35 久居誕生

久居戸本めぐり 本造氏終焉の地

久居地域の名所・旧跡のガイドや紙芝居を聞いてみませんか！

学校行事や地域行事など団体から個人までどなたでもガイドの依頼をお引き受けします。お気軽にご相談ください。

紙芝居のタイトル（令和2年4月現在）

- ・藤堂高通と久居藩
- ・西嶋八兵衛と雲出井
- ・久居焼けと立て直し
- ・小戸木物語
- ・農学博士上野英三郎の水田づくり
- ・久居の鐘馗さん
- ・久居城下のまちづくり
- ・寛政の農民一揆
- ・国友の飛行機
- ・はちこう
- ・須ヶ瀬町郷土史
- ・新家の集団移転



奈良街道

かつては「伊賀越えならみち」と言われ、お伊勢参りの旅人で賑わい伊勢街道の月本で合流する。今も所々の軒並に往時を忍ぶことができる。



（左：ならみち）（右：新道）

風早池

垂仁天皇（第11代天皇）が全国に造らせた八百の池の一つとして伝わっている。大昔は堤防が大雨で壊れたため人柱伝説もあるが現在では県下でも有数の灌漑用水池になっている。



久居陣屋跡

1669年（寛文9）津藩主藤堂高虎の孫高通が分家として五万石が分封され、野辺の巽岡に陣屋を築き、東方に久居の城下町が出来た。



まちかど博物館

味噌傳（辻岡醸造）

1765年（明和2）創業。歴史を刻んだ蔵から、日本伝統の調味料、味噌、醤油の醸造が受け継がれている奈良街道沿いの店である。



近畿日本鉄道ホームページ



近鉄の時刻表はこちらから

久居駅時刻表



発行 久居誕生350年事業実行委員会

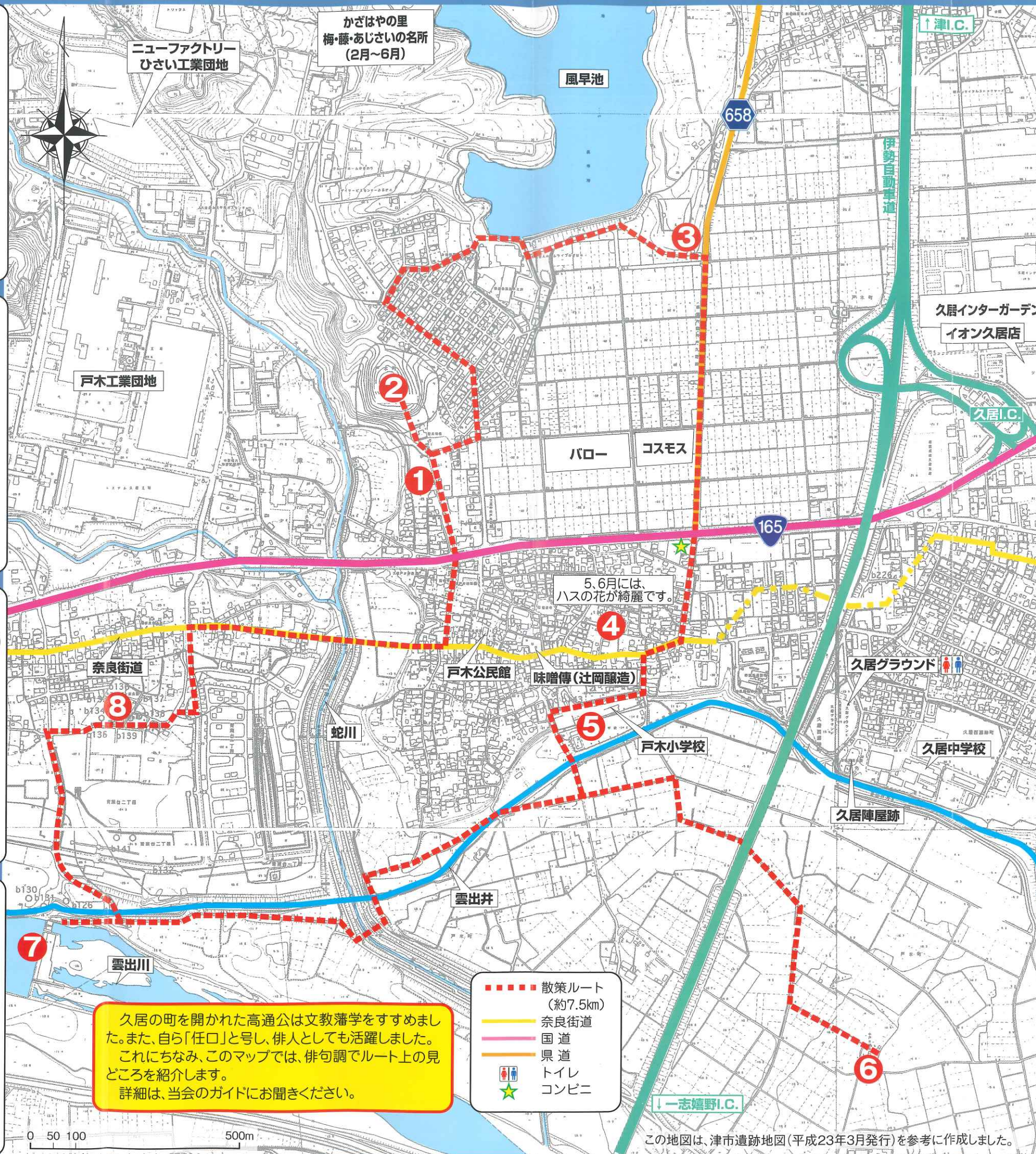
（監修 久居城下案内人の会）

問合せ先 津市久居総合支所 地域振興課内

住所 〒514-1192 津市久居新町 3006番地

電話 059-255-8803 FAX 059-255-0960

令和2年 10月発行



A photograph of a stone monument with the inscription '戸木城址' (Uki-jō) and a large green tree in the background. The monument is made of light-colored stone and has the characters '戸木城址' carved vertically. To the left of the monument is a small white structure, possibly a shrine or a marker. The background is filled with lush green foliage.